

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 4170200291 | | |
| 法人名 | 有限会社 ハート | | |
| 事業所名 | グループホーム 安庵 | | |
| 所在地 | 佐賀県唐津市佐志1156-26 | | |
| 自己評価作成日 | 令和3年7月31日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|--|
| 基本情報リンク先URL | www.kaigokensaku.mhlw.go.jp |
|-------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|---------|-----------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号 | | |
| 訪問調査日 | 令和3年10月20日 | 外部評価確定日 | 令和3年12月2日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>唐津市、唐津湾、唐津城、日本三大松原と言われる虹ノ松原が一望できる高台に位置するグループホーム2ユニットです。入居者様はもとより、訪問者の皆様にも「景色が良いですね、ほっとします」といった言葉を頂くことが多く、四季折々の移り変わりを楽しめる事もアピールの一つです。施設は開設から17年になり、入居者様も高齢となられ、一緒に何か作業をする・・・といった事が困難となっている状況はありますが、出来る限り散歩、ドライブ、日光浴を行うよう努めております。施設内は、不快な臭いがないように換気、消毒には十分に気を付けています。職員も、理念に挙げているように、入居者様お一人お一人のペースを大事にしてご利用者中心の介護が提供できるように日頃から努力しています。</p> |
|---|

| |
|--|
| <p>パンフレットには「その人らしさを大切にします」「楽しく、ゆっくり、のんびりと」と書かれている。リビングのソファーには、猫が我が物顔でのんびり。そのそばでは利用者が笑顔で猫の頭をなでておられる。自分の居室でゆっくり過ごされている利用者も居られる。裏庭には利用者と職員の共同作業で植えられた花の苗が春が来るのを待っている。開設から17年、経験からくる自信が伺える。看取りだけでなく、透析や胃瘻など医療面の支援が必要な利用者に対しても積極的に関わられている。組織のシステムを見直し、本部を設け、また電子カルテの導入やネット環境の簡素化など、時代に即した取り組みがなされている。今後労働不足となることを見据え、外国人労働者導入も計画中である。</p> |
|--|

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|--|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) | (事業所記入欄) | (評価機関記入欄) | |
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。 | 日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。 | 開設時に作られた理念を今も引き継いでいる。法人で作成されたものと別に職員が作ったものがある。朝礼時に唱和をすることで、理念の共有と実践に繋げている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加していたが、ここ2年程、新型コロナウイルスの状況で交流が図れていない。 近隣の施設の夏祭り、花火大会等への参加はここ2年程は、新型コロナウイルスの状況で参加できていない。 | 運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加していたが、ここ2年程、新型コロナウイルスの状況で交流が図れていない。 近隣の施設の夏祭り、花火大会等への参加はここ2年程は、新型コロナウイルスの状況で参加できていない。 | 秋の感謝祭である獅子舞いがあり、施設を訪問してもらい、勇ましい舞を楽しんだ。施設で行事を行うときは近隣の人に手伝ってもらうこともある。近所のごみ当番などは職員が行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っているが、コロナ禍で運営推進会議等中止になることが多く、活かされていない。 | 運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っているが、コロナ禍で運営推進会議等中止になることが多く、活かされていない。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かすようにしていたが、コロナ禍で運営推進会議が中止になることが多くなった。 | 利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かすようにしていたが、コロナ禍で運営推進会議が中止になることが多くなった。 | 参加メンバーは家族、地区の区長、地域代表者、地区民生委員、行政担当者、地域の高齢者施設からの参加もある。また交番もメンバーである。事業所からの報告とともに参加メンバーからの意見や要望、地域の情報などを受け、双方向的な会議が行われている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|--|--|--|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 日頃より気になる事や、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。 | 日頃より気になる事や、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。 | 電話やメールなどで密に連絡できている。相談しやすい関係作りができている。現場の実情なども伝えている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して、身体拘束ゼロを目指して実践している。 | 「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して、身体拘束ゼロを目指して実践している。 | 玄関の施錠は行っていない。利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒についていくなど、自由な暮らしを支えている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して身体拘束ゼロを目指して実践している。 | 施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している | コロナ禍で施設外研修に出向くことが少なくなり、ネットで研修資料を作り、職員会議の時に勉強会をして、支援できるようにしている。 | コロナ禍で施設外研修に出向くことが少なくなり、ネットで研修資料を作り、職員会議の時に勉強会をして、支援できるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。 | 契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|---|---|--|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 月1回行う、法人会議(社長、専務、事業所の管理者、主任、事務長、栄養士等)の全体会議で協議し、改善するように努め、運営に反映させている。 | 月1回行う、法人会議(社長、専務、事業所の管理者、主任、事務長、栄養士等)の全体会議で協議し、改善するように努め、運営に反映させている。 | 家族の訪問時に声をかけ、意見や要望などを聞くようにしている。家族へのアンケートでも多くの人が「聞いてくれる」と答えられている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の全体会議で話し合い、改善するように努め、運営に反映させている。 | 職員の全体会議で話し合い、改善するように努め、運営に反映させている。 | 毎月の職員会議で運営について話し合う機会を設けている。これまでに休憩室を増やすなど改善している。またWi-Fiを導入するなどネット環境を整え、事務業務の簡素化を図っている。好評である。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩みや希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。 | 年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩みや希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしている。 | 個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めていたが、新型コロナウイルスの感染状況により研修自体が減ってきている。 | 唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めていたが、新型コロナウイルスの感染状況により研修自体が減ってきている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|-----------------------------|----|---|---|---|-------------------|-------------------|--|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂けたらサインを頂くようになっている。) | 本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂けたらサインを頂くようになっている。) | | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。 | 家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。 | | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを頂くようになっている。) | 本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを頂くようになっている。) | | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 理念に挙げていて、日頃から上から目線ではなく、共に過ごし合えるように努めている。 | 理念に挙げていて、日頃から上から目線ではなく、共に過ごし合えるように努めている。 | | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 新型コロナウイルスの感染状況により、窓越し面会しかできておらず、本人・ご家族触れ合うことが難しくなっている状況で、病院受診等で日頃と変わったことがあれば小まめに電話したり、月1回の手紙で詳しく書くようになっている。 | 新型コロナウイルスの感染状況により、窓越し面会しかできておらず、本人・ご家族触れ合うことが難しくなっている状況で、病院受診等で日頃と変わったことがあれば小まめに電話したり、月1回の手紙で詳しく書くようになっている。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|---|---|---|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) | (事業所記入欄) | (評価機関記入欄) | |
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援していたが、新型コロナウイルス感染状況により、近隣の散歩、ドライブしかできていない。 | 本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援していたが、新型コロナウイルス感染状況により、近隣の散歩、ドライブしかできていない。 | 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下では面会は禁止していたが、状況を見ながら元の暮らしに戻っていきたいと考えている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | リビングにソファを置き、利用者同士が話しやすいようにしている。 | リビングにソファを置き、利用者同士が話しやすいようにしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしていたが、新型コロナウイルス感染状況により、できていない。その分電話、ライン、メールをするようになった。 | 入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしていたが、新型コロナウイルス感染状況により、できていない。その分電話、ライン、メールをするようになった。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしている。 | 入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしている。 | 日々の関わりの中で声をかけ把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し測り、それとなく確認している。家族からの情報も大事にしている。ペットも家族の一員の考えから、一緒に過ごせるよう配慮されている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、また家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしている。 | 日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、また家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々コミュニケーションを取り、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。 | 日々コミュニケーションを取り、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き、会議計画を作成し、モニタリングを行っている。 | 定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き、会議計画を作成し、モニタリングを行っている。 | サービス担当者会議は本人や家族の参加にて、具体的な意向、具体策を話し合われている。電子カルテが導入されており、業務の簡素化、タイムリーに情報を共有することもできる。また紙不要にもなっている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 電子カルテの経過記録や熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、ユニットごとのグループラインでタイムリーに情報を共有して実践している。 | 電子カルテの経過記録や熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、ユニットごとのグループラインでタイムリーに情報を共有して実践している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(デイサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等) | ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(デイサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等) | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことが出来るようにしている。 | 民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことが出来るようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|--|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している | 希望される医療機関をかかりつけ 医とし、必要に応じて往診が受け られるようにして、定期受診は、家 族が付き添う。出来ない時は職員 が対応している。 | 希望される医療機関をかかりつけ 医とし、必要に応じて往診が受け られるようにして、定期受診は、家 族が付き添う。出来ない時は職員 が対応している。 | かかりつけ医は自由に選択できる が、協力医の往診が定期的に行わ れているため、本人や家族の希望 で変更となるケースもある。歯科医 の往診もある。眼科や皮膚科、精神 科などの専門医の受診は基本は家 族の対応をお願いしている。家族が 対応できない時は、職員が受診介 助することもある。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している | ホーム内に看護師が居て、日常 の健康管理や適切な受診や看護 が受けられるようにしている。 | ホーム内に看護師が居て、日常 の健康管理や適切な受診や看護 が受けられるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は定期的に面会に行っ たり、電話をしたりして、医師、看護 師と情報交換を行っている。 | 入院中は定期的に面会に行っ たり、電話をしたりして、医師、看護 師と情報交換を行っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる | 時期が来たらかかりつけ医、看護 師、スタッフで、終末期のあり方 について話し合い、本人や家族に意 向を確認し、対応方法を文書で説 明、同意を得ている。 | 時期が来たらかかりつけ医、看護 師、スタッフで、終末期のあり方 について話し合い、本人や家族に意 向を確認し、対応方法を文書で説 明、同意を得ている。 | 看取りは開設当初より取り組んできた 実績がある。透析患者や胃ろうの 患者の受け入れもしている。3人の 看護職在籍は強みである。重度化 に対応できるように研修や資格取 得への取り組みもある。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|---|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) | (事業所記入欄) | (評価機関記入欄) | |
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、緊急蘇生法、応急手当等学びの場を持ち実践力に備えている。 | 消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、緊急蘇生法、応急手当等学びの場を持ち実践力に備えている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、消防、通報、避難誘導方法が身につくようにしている。 | 消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、消防、通報、避難誘導方法が身につくようにしている。 | 日頃より近隣の施設との連携を図りながら協力体制を築いている。食料品は1週間分備蓄している。おむつやリネン類の備えもある。施設は高台にあるが、土砂崩れなどの危険性なども調査して建てられている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日頃から尊厳を持って接するよう、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。 | 日頃から尊厳を持って接するよう、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。 | 接遇の研修を行い、人格の尊重やプライバシーの保護について学ぶ機会を作っている。まずは本人の気持ちを大切に考えてさりげないケアの実践に努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。 | 本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|--|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホーム内での全体に日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。 | ホーム内での全体に日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 理美容に関しては、訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。 | 理美容に関しては、訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていたりもする。 | メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていたりもする。 | その日のメニューは利用者と相談しながら決める。地産の新鮮な物を購入するように心がけている。下拵などは利用者と一緒にしている。職員と利用者が同じテーブルで食事をしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量は、朝、昼、夕と電子カルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。健康のバロメーターとして早期に異常の発見に努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。 | 食事摂取量は、朝、昼、夕と電子カルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。健康のバロメーターとして早期に異常の発見に努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 1日3回食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)。 | 1日3回食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|---|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 頻回な見守りをして、排泄パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。 | 頻回な見守りをして、排泄パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。 | 利用者の状態に合わせた排泄介助を行っている。できるだけトイレでの排泄を支援したいと考えている。紙おむつ、パットは質を考慮することで枚数が減り、コスト減となっている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、15時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。 | 旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、15時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 一応曜日は決まっているが、作業後にお風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけている。又入浴を拒否される方へは、時間を置き、何度も声掛けを行うようにしている。 | 一応曜日は決まっているが、作業後にお風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけている。又入浴を拒否される方へは、時間を置き、何度も声掛けを行うようにしている。 | 毎日沸かしてある。かけ流しである。リフトが設置され利用者にも職員にも優しい造りである。1:1での介助、また希望があれば同性での介助をされている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄機、加湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。 | 室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄機、加湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。 | 薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) | 自己評価／ユニットB(2号館) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|-------------------|-------------------|
| | | | (事業所記入欄) 実施状況 | (事業所記入欄) 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。 | 入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めていたが、今はコロナ禍のため、近隣の散歩、ドライブになっている。 | 買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めていたが、今はコロナ禍のため、近隣の散歩、ドライブになっている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を所持したいと言う希望があれば1000円程度は持てるようにしている。なくしたりしても施設が責任を持てる額、トラブルにならない程度の額にしている。 | お金を所持したいと言う希望があれば1000円程度は持てるようにしている。なくしたりしても施設が責任を持てる額、トラブルにならない程度の額にしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 家族や大切な人に電話が出来るように支援している。携帯電話をもっておられるご利用者さんもおられる。 | 家族や大切な人に電話が出来るように支援している。携帯電話をもっておられるご利用者さんもおられる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。また、玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。 | 日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。また、玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。 | リビングは明るく、静かである。猫と過ごされている利用者、利用者同士で座られていたり、遅い食事をされている利用者など思い思いの時間が流れている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングには自由に過ごせるよるソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。 | リビングには自由に過ごせるよるソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 仏壇、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるようにしている。 | 仏壇、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるようにしている。 | 利用者一人一人の思いを汲んだ居室である。居室で過ごす時間も大切にされている。安全面からドアは閉め切らずに開けてある。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | バリアフリーにして、段差をなくしたり、廊下、トイレ、風呂等手すりをつけたり、大きく字を書いて表示したり、ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。日付、曜日が分かりやすいように大きいカレンダーを使用している。 | バリアフリーにして、段差をなくしたり、廊下、トイレ、風呂等手すりをつけたり、大きく字を書いて表示したり、ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。日付、曜日が分かりやすいように大きいカレンダーを使用している。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入) | | | | |
|--|--|---------------------|-------|----------------|
| ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | | |
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
| | | ユニットA | ユニットB | |
| | | ↓ 該当するものに○印をつけてください | | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38) | ○ | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまにある |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49) | | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ○ | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
|-----|--|---------------------|-------|----------------|
| | | ユニットA | ユニットB | |
| | | ↓ 該当するものに○印をつけてください | | |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20) | ○ | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまに |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4) | ○ | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |